

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所いーはとーぶ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 16日		～ 令和 8年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 16日		～ 令和 7年 12月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、児童指導員、機能訓練士、看護師と専門性が高い職員を基準人員以上に加配しており、より手厚い支援が出来ている。	・医療的ケアがある方も安心して利用ができるよう、医ケア児区分に応じた看護師の配置をしている ・保育士を中心として、チーム全体で療育を行っている ・機能訓練士も配置しており、必要な訓練を受ける事ができる	・個別に必要な訓練をしっかりと時間を確保して実施していく体制を整えていく ・自閉症支援等、療育に必要な知識を全職員に普及していく ・意思表出できるような自助具を取り入れ、意思表出の為の支援をしていく
2	・家族、相談支援専門員を含めた個別支援会議を最低6か月に1回実施しており、現状の共有や課題の明確化ができています。	・会議はできる限り対面で行うように心がけ、ゆっくりと時間を取って子ども達の状況や課題について話せる機会を持っている	・必要時は他関係機関も含めて会議を行う
3	・個々の特性に合わせて支援内容の工夫ができています	・個々の理解力や意思伝達能力等に合わせてスケジュールカードや絵カード等を使い、落ち着いて楽しく過ごせるように工夫している ・毎月研修を実施し、知識と支援力の向上に努めている	・今後も研修を続けていき、よりアセスメントをしっかりとらえて個々に合わせた支援ができるよう取り組んでいく ・将来を見据えた支援を検討する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の方と関わる機会が少ない	・地域の行事や活動には出向いているが、地域の方を自事業所へ招く事はできていない。 ・利用者の直接支援で手一杯で、地域の方をお招きする企画、計画にまで時間を割くことが難しい。	・引き続き地域へのイベントには積極的に参加を行う。 ・自事業所でイベントやお祭り、物販ができるよう担当を決めて計画をしていく
2	・勤務時間が様々で、朝夕の情報共有やミーティングの時間の確保が難しい	児発・放デイの多機能型のため、午前・午後と支援が入っている。全員で時間を取ったミーティングを毎回行えるわけではない。	効率的に行うことができるように、支援記録を活用しながら課題と改善点に焦点を当てて支援の組み立てに関するミーティングを行う時間を確保する 情報共有データベースを使い情報の共有や意見交換を行えるようにする
3	各種マニュアルや訓練の周知	保護者様が事業所に来所される機会が少ないため、契約時の説明と玄関への掲示では情報を確認できていない時があった。	契約時にはマニュアルや訓練について、今一度説明の仕方を見直し、保護者様が理解しやすいように説明を行う。
4	保護者同士の交流	同じ悩みを持った保護者様同士が交流する機会や保護者様への研修の機会が設定できると、よりサポートできる体制が作りやすい。しかし児の預かりやスタッフの勤務調整の問題、ニーズの実態把握ができていないため、まだ機会の設定には至っていない。	すぐに保護者会や研修の機会を確保することは難しいため、引き続き、個別に保護者への相談援助や支援技術のアドバイスを重点的に行う。 保護者会の開催を希望する意見を調査した上で、開催方法や場所・時間帯を検討する。